

平成30年度

企業力強化視察・研修

報告書

H30年10月25日(木)～27日(土)

秋田県

鹿児島木材産業協同組合

今年度の視察・研修は、下記のとおり10月25日(木)から27日(土)にかけて秋田県内において実施いたしました。参加者は25名であり、ご夫婦も7組参加していただくなど親睦を図ることができました。今回は、日本を代表する銘木秋田杉と秋田杉を使用した木造建築について研修を行いました。

また、渓谷と紅葉という天然資源を観光に活用した地域活性化や地元特産の米を利用した醸造施設などを視察することができました。

来年度も多くの組合員がご参加できるような視察・研修計画を考えてまいります。

日程表

日程	スケジュール	宿泊地
1日目 (10/25) 木	7:30 SNA72 9:15 9:50 ANA 10:55 12:20 ~ 15:00 鹿児島空港 → → 羽田空港 → → 秋田空港 → → 角館 航空機 航空機 (見学と昼食) 15:40~16:20 17:30 抱返り渓谷散策 → → 鶯宿温泉	長栄館
2日目 (10/26) 金	8:00 9:20 ~9:40 9:50~10:20 10:30~10:50 ホテル → → 県民の森 → → 思い出の潟分校 → → 田沢湖周辺見学 12:00~12:50 13:00~14:00 14:40~15:20 17:10 秋田ふるさと村 → → 日の丸醸造 → → 小安峡 → → 秋田市内 (昼食)	秋田キャッスル ホテル
3日目 (10/27) 土	8:45 8:40~9:40 10:30~11:00 12:00~13:00 ホテル → → オートタワーセリオ → → なまはげ館 → → 寒風山 (昼食) 16:10 17:40 19:10 22:10 秋田空港 → → 羽田空港 → → 鹿児島空港 航空機 航空機 ANA408 SNA79	

※ 航空機以外は、専用バス使用

視察・研修

○ 角館武家屋敷(青柳家、石黒家)

角館の町並みは1620年芦名氏によって造られ、その後佐竹北家の城下町として栄えた。三方が山々に囲まれ、歴史ある武家屋敷と桜並木が美しく、「みちのくの小京都」と称される。

青柳家は、3千坪の敷地内に6つの資料館があり、武具や美術品が展示されている。正面の薬医門は角館武家屋敷の象徴として知られる。

石黒家は、今でも子孫家族が住宅として使用し、江戸時代以降の伝統的日本文化を後世に伝える施設として公開されている。

両家とも住宅の柱・桁等にスギやケヤキ等を使用し、重厚な面持ちとなっている。

また、桧木内川の堤防には、天皇陛下のご誕生を記念し、延長2kmにわたり桜が植栽され、本県より1月遅い4月下旬ごろが見ごろとなる。

武家屋敷内には、藩政時代に植栽され、国の天然記念物となっているシダレザクラがあり、ソメイヨシノより少し早く見ごろを迎える。



薬医門にて記念撮影



青柳家母屋



石黒家室内



石黒家資料室

○ 抱返り溪谷

東北の耶馬溪と称され、原生林の中の溪流と断崖絶壁が勇壮な溪谷美を見せる。抱返り溪谷に架かるつり橋、神の岩橋からの眺めや、回顧(みかえり)の滝付近の紅葉はまさに絶景である。

名称の由来は、地形が非常に急峻で狭隘なために、人がすれ違うときに、互いを抱き合って振り返ったことに因むといわれる

回顧の滝近くには、豊富な水量を利用して抱返頭首工が国営で建設され、田沢疏水として下流へ通水している。



抱返り溪谷記念碑の前で記念撮影



溪谷の遊歩道の前で記念撮影

○ 秋田県民の森

昭和43年5月19日に第19回全国植樹祭が田沢湖周辺で開催され、日本列島を形どって記念に各県の県木が植樹されている。鹿児島県の県木はクスであるが、クリシマアカマツが植栽されている。秋田県は秋田杉が植栽されている。



日本列島を形どった記念植樹



鹿児島島のクリシマアカマツ



秋田スギのところで記念撮影



秋田空港に展示された天然秋田スギの切り株

○ 思い出の潟分校

昭和49年に廃校となった小保内小学校潟分校が一般公開された。古い木造校舎で、体育館も木造である。教室の中の机、いす、教材等も当時のまま保存され、皆さん懐かしく感じられた様子でした。



童心に帰って記念撮影



木造体育館(一部補修されている)



校舎の前で記念撮影



田沢湖の畔に立つ黄金のたつこ像

○ 蔵めぐり 日の丸醸造ほか

増田町の醸造は江戸時代から始まり、各家の内部に立ち並ぶ豪華絢爛な「内蔵」は、商家の栄華の象徴であった。蔵名の「日の丸」は秋田藩主佐竹公の紋処が「五本骨の扇に日の丸」だったことに由来する。

平成25年には国の重要伝統的建造物保存地区に選定されている。

蔵の内部は、地元のスギやケヤキを利用した重厚な造りとなっている。

また、酒米は、食用米とは異なり特有の品質が求められることから、地域の農家の協力を得ながら栽培している。



日の丸醸造



蔵内部(桁はケヤキを使用)



他の醸造蔵の内部



2階の梁と棟木には大径の杉を使用

○ 小安峡大噴湯



○ 十文字道の駅



○ ナマハゲ 男鹿真山伝承館

当初上小阿仁村の秋田杉を予定していたが、経路が狭くバスが通行不能のため、計画を変更した。民俗行事として全国的に知られるナマハゲ伝承館を視察し、ナマハゲ習俗学習講座を受講した。施設の入り口は、男鹿の寒風山で採取された男鹿石を多用した石造りとなっており、内部は秋田杉の磨き丸太が林立している。講座が行われる民家は実際住宅として近年まで使用されていたもので、男鹿の生活が推察される。講座は20分程度であるが、民家の主とナマハゲとの問答などが、男鹿の伝統文化を感じさせる。



伝承館内部



各地のナマハゲを展示



ナマハゲ習俗学習講座会場



ナマハゲの実演

○ 懇親会及び食事状況



1日目 懇親会 鶯宿温泉 長栄館



2日目 懇親会 秋田市内 日内や



3日目昼食会場寒風山で記念撮影

鹿児島空港での解散式

参加者の感想等

- (Aさん) 初めて組合主催の視察・研修に参加した。一人で参加したため不安だったが、周りの方々に良くしていただき、とても楽しかった。来年もぜひ参加したい。
国内旅行はどれも同じと思っていたが、実際行ってみると、テレビや写真と違ってとても良かった。
海外旅行よりも手軽なところが良い。
- (Bさん) 初めて組合主催の視察・研修に参加したが、行程や視察先などとても良かった。日頃団地内の方々と話す機会が少ないが、今回の研修で親睦が図られ、有意義であった。
渦分校の木造校舎はとても懐かしく感じられた。
小安峡は、長い階段を歩いたが、その甲斐あって、渓谷と紅葉が美しかった。
来年もぜひ参加したい。
- (Cさん) 初めて視察・研修に参加した。組合員の方々と日頃じっくり話をする機会が少なかったが、今回多くの方々と話ができて良かった。
角館の武家屋敷や日の丸醸造など古い建物が現存しているところが素晴らしい。地元の秋田杉やケヤキ等を住宅の差し鴨居や欄間に使用しているのは、木造建築の文化を感じさせるとともに所有者の財力が感じられる。角館は桜の咲く時期にぜひ訪れたい。
また、米所秋田らしく、古い蔵元が多く、多種類の地酒をおいしくいただいた。
ナマハゲの実演は地域の伝統文化を理解するうえでとても素晴らしい取り組みで感動した。毎日数回実演するとのことで、ニーズの高さが伺える。
- (Dさん) 東開町には町内会もなく、仕事関係以外の人と話す機会が少ない。今回の研修を通じてとても親しくなれて良かった。
組合が福利厚生事業でヨガ教室などを行っているが、その時お会いすることはあっても、こんなに親しくはなれないので、参加して良かった。
- (Eさん) 業種が違うので日頃話をする事もない。今回の研修で団地内の方々と親睦が図られたのがとても良かった。
行程や視察先など全体的にとっても良かった。